



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト経済：8月末の外貨準備高ほか

(中央銀行ホームページ)

1. 8月末の外貨準備高

- (1) 9月2日、エジプト中央銀行は、8月末の外貨準備高が151.3億ドルになり、前月末の144.4億ドルより約7億ドル増加したと発表した。
- (2) サイド財務相は、8月下旬、カタールが約束した中央銀行への入金20億ドルのうち、5億ドルの入金が実施されたことを明らかにした。残りの15億ドルは、9月に入金が完了される予定。
- (3) エジプトの主要投資銀行であるEFG-HERMESのワイル・ズィアーダ主席研究員は、外貨準備高の増加が一見良いニュースにみえるが、この増加は、エジプトの持続的な資本流入や経常収支赤字の改善に基づいたものではないため、外貨準備高の増加をもってエジプトの経済基盤の回復の兆候と捉えることはできないと述べた。

2. 大統領就任後の株価の上昇

- (1) エジプト30種平均株価指数(EGX30)は、8月初めから同末までに9.6%上昇し、8月31日時点で3月以来最も高い5,332.25ポイントを記録した。
- (2) 70種平均株価指数(EGX70)および100種平均株価指数(EGX100)についても、8月初めから同末までにそれぞれ13.3%、10.7%上昇している。
- (3) エジプト証券取引所は、8月末時点の時価総額が7月末より293億エジプト・ポンド(LE)増加したことを明らかにした。8月末時点の時価総額は、前月比8.6%増の3,692億LE。
- (4) 株取引の専門家らは、時価総額増加の原因として、新内閣組閣後の政治的安定、軍幹部の交替による軍の政治からの離脱、サウジアラビアやカタールからの入金、およびIMF代表団のエジプト訪問の際の48億ドルの借款に関する協議の再開などが挙げられると推測している。